

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	9	9	1	9	3
1歳児	12	12	1	12	3
2歳児	16	16	1	16	3
3歳児	17	17	1	17	2
4歳児	18	18	1	18	2
5歳児	18	17	1	17	1
計	90	89	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○保育所の場合

常勤職員数		15人	
うち	保育士	12人	保健師・看護師 0人
	栄養士・調理員	2人	その他（事務・保育補助） 1人
非常勤職員数		4人（常勤換算	1.9人）
うち	保育士	1人（常勤換算	0.4人）
	保健師・看護師	0人（常勤換算	0人）
	栄養士・調理員	3人（常勤換算	1.5人）
	その他（	）人（常勤換算	）人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 2人	非常勤： 人
	退職	常勤： 2人	非常勤： 人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		39.7歳	（ 39.7歳）
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		4.3年	（ 4.3年）
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。			

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	有	—
延長保育	有	250円+150円
休日保育	無	
障害児保育	無	—
一時保育	無	
地域子育て支援センター	無	
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)	無	
アレルギー等対応給食	有	—
その他(事業名: 子育て支援)		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 4 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

4 人

・ボランティアの業務

中学生の職業体験

【実習生の受け入れ】

・令和 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 0 人

介護福祉士 0 人

その他 4 人

【施設の状況に関する事項】

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	516.05 m ²
	児童1人あたり 5.7 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	263.55 m ²
	児童1人あたり 2.9 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成 19 年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・年間保育行事の実施後にアンケートを行い、利用者の意見を反映した保育活動を実施している。
- ・行事後のアンケートを集計し、保護者に配布し共通の理解を図っている。
- ・運営委員会、クラス懇談会、子育てサロン等を実施し、意見を聞いている。

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・さいたま市子ども総合センター 臨床心理士が毎月、インクルーシブ子育て支援事業の一環として訪問している。園内の子どもたちの発育や心理などをカンファレンスで話し合い、クラス運営に活かしている。
- ・さいたま市子ども総合センター・さいたま市ひまわり学園・さいたま市児童相談所・見沼区支援課・見沼区生活保護課・見沼区保健センター各所と連携を図り、子どもや保護者支援を行っている。
- ・保護者同士の交流の場を提供する為に年4回子育てサロンを実施している。看護師による手洗い指導や栄養士による給食のレシピ配布などを行った。
- ・地域交流に力を入れ、中学生の職業体験の受け入れをしたり、小学校の町探検に協力し交流をした。
- ・職員の中での「気づき」「助け合い」の意識向上に向け、声掛けや小さな問題でも全体で共有し、全員で保育園のことを考えられるように心がけている。また、運営理念にもあるように「職員が楽しく働ける環境づくり」に取り組んでいる。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数(前回の受審時期)

3 回 (平成 29 年度)